



今回は、昨年から玉高附中で活用している「スコラ手帳」について、1年生の感想を紹介します。

私が入学して約1ヶ月がたちます。みんな友好的で、初対面の私にも笑顔で話しかけてくれます。そんな人たちに囲まれて、私の緊張もしいにほぐれてきました。

入学式の日配られた「スコラ手帳」、これは、忙しくなる中学校生活に、ピッタリ合うものでした。スコラ手帳に書いてあるお手本や先輩のスコラ手帳を参考に、自分なりのスコラ手帳をつくってみました。先生は、はじめに「しっかりとスコラ手帳を書くと、見える世界が違ってくる」とおっしゃいました。私は「手帳を書くだけで本当にきっちりしてくるのかあ？」と半信半疑でしたが、寝る時間・起きる時間・勉強を始める時間を毎日固定する「三点固定」をしたら、休みの前にはいつも夜ふかしをする私が、毎日早く寝るようになりました。



数々の私の成長に、今も自分でおどろいています。ここまで急激に成長できたのは、「玉名高等学校附属中学校」という、質の高い環境のおかげだと思います。ここに来て本当に良かったと心から思えます。 (古賀さん)

体育祭にかけるエネルギーは相当なものがありますが、生徒の思い・感想は、高校生も含めてたくさん集まっています。今後も、少しずつ紹介していきます。玉高附中出身の玉高生も、大きな役割を果たしました。写真は、体育祭企画委員長の土田くんです。「ワンシーン集」は玉高附中2年の学級通信からです。



初めて体育祭、不安と緊張がありましたが、無事に成功したと思います。ぼくは黄団でしたが、青団のダンスがとても仕上がっていて見習いたいと思いました。リーダーの方が、団長さんを中心にいろいろな面で引っばってくださったので、本番は全力を出しました。中学生のテントでの応援が一番盛り上がっていました。

(古賀くん)

私は附属中出身で、体育祭に参加するのは今年で4回目です。3年間、人文字や高校の競技を見ていたので、楽しみな

気持ちがある反面、先輩方のように上手にできるのか不安でもありました。しかし、練習が始まってしばらくすると、少しずつ慣れて、日に日に熱意が高まってきました。当日は天気こそ恵まれませんでしたが、終わって大きな達成感や感動を感じました。他の高校では経験できないような貴重な経験ができて良かったです。 (玉名高校 門川さん)

5月18日(金)、中学校は中・高1年生による「ピアサポート」、高校は生徒朝会でした。中・高ともに、次のステージへ動き始めました。 2018.5.21 副校長 山部